

# 通信小海

## 和解のためには

牧師 水草修治

一 三年は戦争の文字が新聞紙上に踊らない日はない一年間だった。開戦三週間でフシ子大統領は「勝利宣言」をしたが、実際は今も戦闘中である。米国は戦後の日本民主化政策をモデルにして、イラクの戦後政策をとるつもりで、フランクス將軍はマッカーサー將軍の役割にならなはずであったが、思惑は完全に外れてしまった。日本とイラクは何が違ったのか。

「力に対して力で抑えこむだけではだめだ。父の世代は戦後米国から送られた粉ミルクによって子どもたちの命を救われた経験を持つゆえに、和解の道を歩むことができた。だから私はイラクの復興のために積極的に働きたい。」

「神は実にそのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者がひとりとして滅びることなく永遠のいのちを持つためである。」ヨハネ福音書三十六

と言っていた日本人外交官たちが殺害された。殉職には敬意を表したい。粉ミルクも医薬品もぜひ必要である。しかし、それ以上いたいせつなことがある。

敗戦直後、日本の軍人はなぜゲリラ化しなかったのか。彼らが臆病だったからか。そうではない。米軍が粉ミルクをくれたからか。そうでもない。天皇が平和への意思を公にし、その天皇制が維持されたからであろう。天皇制維持は共産化を恐れる米国の政策だったが、結果、元軍人の暴発を抑え、民心を安定させた。天皇は当時の軍人にとって大元帥であり、大半の日本人にとっては心の拠り所だった。好むと好まざるとにかかわらず、戦後日本の安定に天皇制が役立ったことは事実である。そしてGHQは天皇制に敬意を抱いていたわけではないが、これを軽んじはしなかったのである。

どんなに豊かな援助物資をもってイラク

日本同盟基督教団 小海キリスト教会 牧師 水草修治  
 会堂・牧師館 長野県南佐久郡小海町大字小海四三五五 二七  
 千三八四一一 一一 二六七九二四七七六  
 郵便振替 五三三 六一六八三

## 見晴台の教会へどうぞ

(小海駅東の丘の上)

地図

## 集会あんないとなたでもどうぞ

日曜日 サンデースクール 午前八時四五分

朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後七時半時から九時

水曜日 祈り会 午前十時半と午後七時半

\*海尻・川上でも毎月家庭集会あり。

\*個人的な聖書勉強や個人的なご相談にも乗ります。

国民を懐柔しようとも、米国が勝者のおこり、敗者の心のより所を見下すような態度をとるならば和解はありえまい。勝者こそ謙遜であるべきである。傷ついているのは敗者のプライドなのだから。まして彼らは世界最古のメソポタミア文明発祥の地の民として誇り高き人々である。

私たちは単純で暴力的で傲慢なブッシュ大統領のやり方を軽蔑するのだが、自分の日常をふりかえってみれば、つまらぬことと争って仲直りできない愚かさ、実際にも変わらない。仲直りに必要なのは、相手への善意と謙遜さである。

\* \* \*

クリスマスが近づいている。天地万物の創造主の御子が、和解の使者として私たちの間に来てくださった。私たちの罪をさばくことのできる権能をお持ちの裁判官が、あえて罪を自ら背負う人となるため私たちの間に住まわれた。その誕生は、豪壮なローマ皇帝の宮殿ではなく、属国として蹂躪されていたイスラエルの小さな町ベツレヘムの馬屋だった。その寝台は黄金のベッドではなく、飼い葉桶だった。

「キリストは、神の御姿であられる方なのに、神のあり方を捨てることのできないとは考えないで、ご自分を無にして、仕える者の姿を取り、人間と同じようになられたのです。キリストは人としての性質をもって現われ、自分を卑しくし、死にまで従い、実に十字架の死にまでも従われたのです。」(ピリピ書二章六節 八節)

## 山谷にお米を

越年対策用の二・五トンは与えられました。感謝。その後の分がまだ見とおしが立ちません。よろしくお願いします。

(連絡先) お米と調味料(しょうゆ・塩)だしのもと、毛布を必要としています。大根・ニンジンなども助かります。

山谷農場事務局(藤田 寛)

電話090・1436・6334

ﾌｻﾞｸ042・7806・2008

ﾈｰﾙ nyoro@beige.ocn.ne.jp

カンパニ振替 一四 四五三七九六

山谷農場

## 福音指圧教室

いよいよ凍てつく師走の日々です。肩こり、腰痛、ひざの痛みなど、おたがいに押しあいこしてなおしましょう。ご夫婦・親子で見えれば、家でもできますから便利です。教えてくださるのは、「指圧の心、母心。押せばいのちの泉わく。」で有名な波越学園卒業の専門の指圧の先生です。

日時十二月十四日(日)

午後二時から三時半

場所:教会堂

電話九二・四七七六

持ち物バスタオル、タオル、くつした

# 主イエスの養父

彼らが帰っていったとき、見よ、主の使いが夢でヨセフに現われて言った。「立つて、幼子とその母を連れ、エジプトへ逃げなさい。そして、私が知らせるまで、そこにいなさい。ヘロデがこの幼子を探し出して殺そうとしています。」そこで、ヨセフは立って、夜のうちにエジプトに立ち退き、ヘロデが死ぬまでそこにいた。

## マタイ福音書二章

二千年前、父なる神は御子イエスを地上に遣わされるにあたって、その生みの母としてマリヤを、養父としてヨセフをお選びになりました。マリヤは聖母と呼ばれて有名ですが、ヨセフの方は忘れられがちでしょう。しかし、この地上の父を得て、御子イエスは安全に健やかに成長していくことができたのです。

マリヤと婚約をしていたヨセフは、一日千秋の思いで結婚の日を待ち望んでいました。ところが、マリヤのおなかが大きくなってきただけではありません。身に覚えのないヨセフは、たいへん苦しみ悩みました。当時のユダヤの法では、姦淫の罪は死刑と定められていました。

そんなときに、神の御使いからのお告げがあります。マリヤの胎に宿るのは、神の御霊によるものであり、先祖が二千年来待望した救い主メシヤが生まれるのだということです。ヨセフは、自分がメシヤの養父に選ばれたことを自覚し、命がけて母マリヤとイエスを守ることを決意します。敬虔なヨセフは、イエスが生まれるまではマリヤに触れようとしませんでした。

さて、イエスが誕生します。救い主の誕生といえは、これほどおめでたいことはないのですから、みなが大歓迎をしたかというところでもなかつたのでした。当時、イスラエルを治めていたヘロデ大王は、メシヤ誕生というニュースを聞くと、ただちにその殺害命令をだします。メシヤが将来、王になるという噂を聞いていたからです。ヨセフは、危険

を知るとただちに幼子イエスと母マリヤを連れてエジプトに逃れます。

実は、聖書にはヨセフのせりふというものが一言も出てきません。大工であったヨセフは、職人気質というのでしょうか、たぶん無口な人だったのでしょう。しかし、「男は黙って・・・」というように、ヨセフはその人生の要所所で、自制心を持ち、勇敢に、そして忠実に決断して行動し、メシヤの養父としての任務を果たして行くのです。

またそれは、その行く手が見たこともない異郷であっても、夫ヨセフの決断に嬉々として従って行く妻マリヤがいたればこそでした。夫にとつて命がけて妻子を守ることが神からの命令であるように、妻にとつては主にしたがうように夫にしたがうことが、神からのご命令なのでした。

「妻たちよ。あなたがたは、主に従うように、自分の夫に従いなさい。・・・」

夫たちよ。キリストが教会を愛し、教会のためにご自身をささげられたように、あなたがたも、自分の妻を愛しなさい。」

# Merry Christmas

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに  
世を愛された。それは、御子を信じる者が  
一人として滅びることなく、  
永遠のいのちを持つためである。」  
ヨハネ福音書 3 章 16 節

「きよしこの夜 星はひかり  
救いの御子は まぶねの中に  
眠りたもう いとやすく」  
今年のクリスマス、あなたとともに  
賛美歌を歌い聖書のことばを味わい  
ませんか。

## 子どもクリスマス会

日時 12月13日(土) 13:30-15:30  
ゲーム、お菓子作り、工作、おはなし

## イブ礼拝

日時 12月24日(水)

午後 7:30 - 8:45

場所 小海キリスト教会礼拝堂 (小海駅東見晴台)  
無料です